

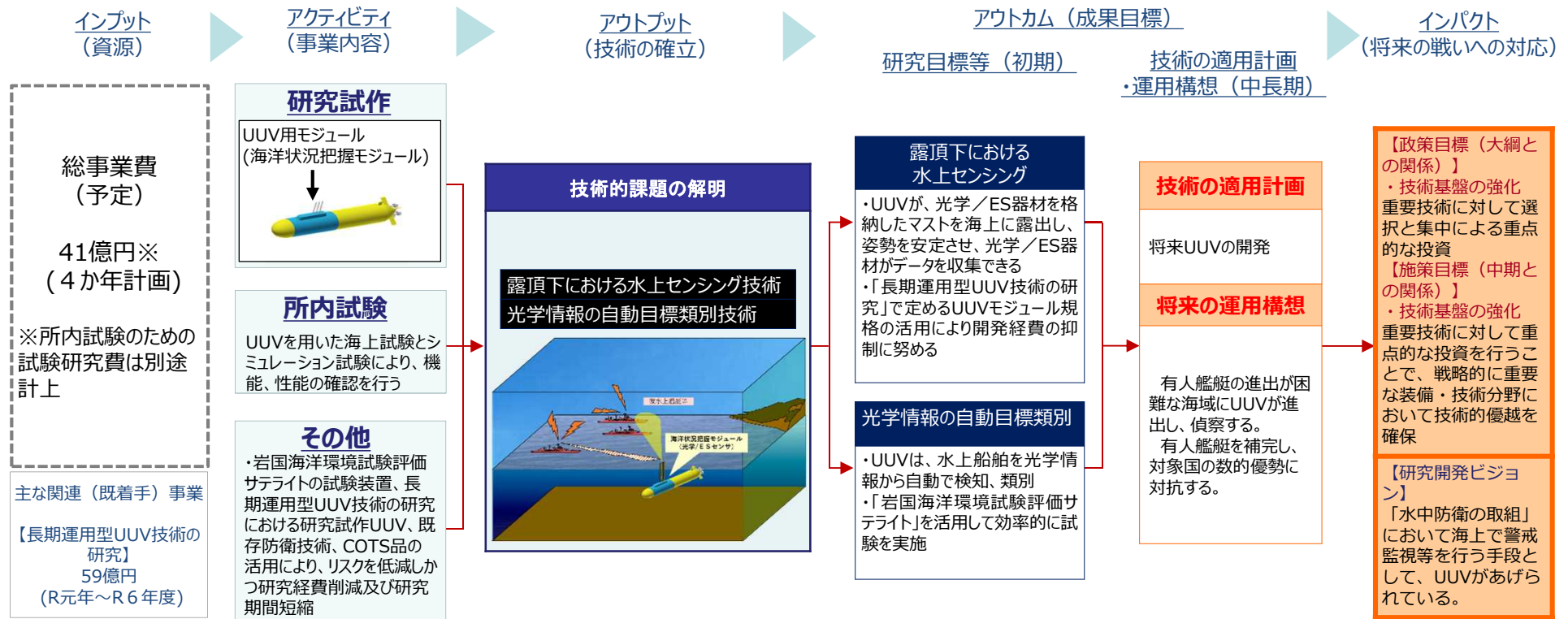
UUV用海洋状況把握モジュールの研究

【事業の概要】

海洋状況把握能力を強化するため、UUV*¹による海上での警戒監視を可能とする光学／ES*²器材の運用技術及び光学情報の自動目標類別技術に関する研究を行う。

現状・課題

周辺国による海上戦力の増大、近代化に対抗するためには、UUVが最適な装備であると期待されている。しかしながら、現状のUUVの利用は、船舶の直下または近傍のみの展開にとどまっており、将来、防衛用途で必要とされる能力を欠いている。こうした現状をふまえ、本事業は、光学/ES器材運用技術、光学情報の自動目標類別技術を確立するものである。



＜研究開発実施線表＞

*1 UUV: Unmanned Underwater Vehicle (水中無人機)
*2 ES: Electronic Warfare Support (電子戦支援)

年度	4	5	6	7	8	9	10
実施内容	本事業 (研究試作)				所内試験		

総合評価

本事業を実施することにより、上記達成すべき目標で述べた技術の確立が見込まれる。これらの成果については、研究試作及び所内試験により検証し、これらの検証結果が得られた場合には、技術競争の激しいこの分野での技術的優越の確保を図ることができ、その結果、我が国の技術力の強化に資することが見込まれる。これらは自衛隊のニーズに合致した高度な防衛装備品を創製するため極めて重要な成果であり、最終的に政策目標である防衛力の能力発揮のための基盤の確立につながるものであることから、本事業に着手する事は妥当であると判断する。